テヌート社製
CO2局所施用コントローラー
「ブレス」を使用した感想

2018年6月12日

株式会社リコペル

農業生産法人株式会社リコペル

所在地：　山梨県北杜市白州町
　　山梨県北杜市長坂町

設立：　平成26年5月

スタッフ数：　15名

栽培品目：
　フルーツトマト、四季なりイチゴ、ブルーベリー、レモン

栽培面積：約7,000㎡

商品：フルーツトマト、フルーツトマトジュース

理念：
おいしい食べ物を生産し世界中の人々の幸せに貢献する

Mission：
中山間地でも収益のある農業ビジネスモデルを確立する

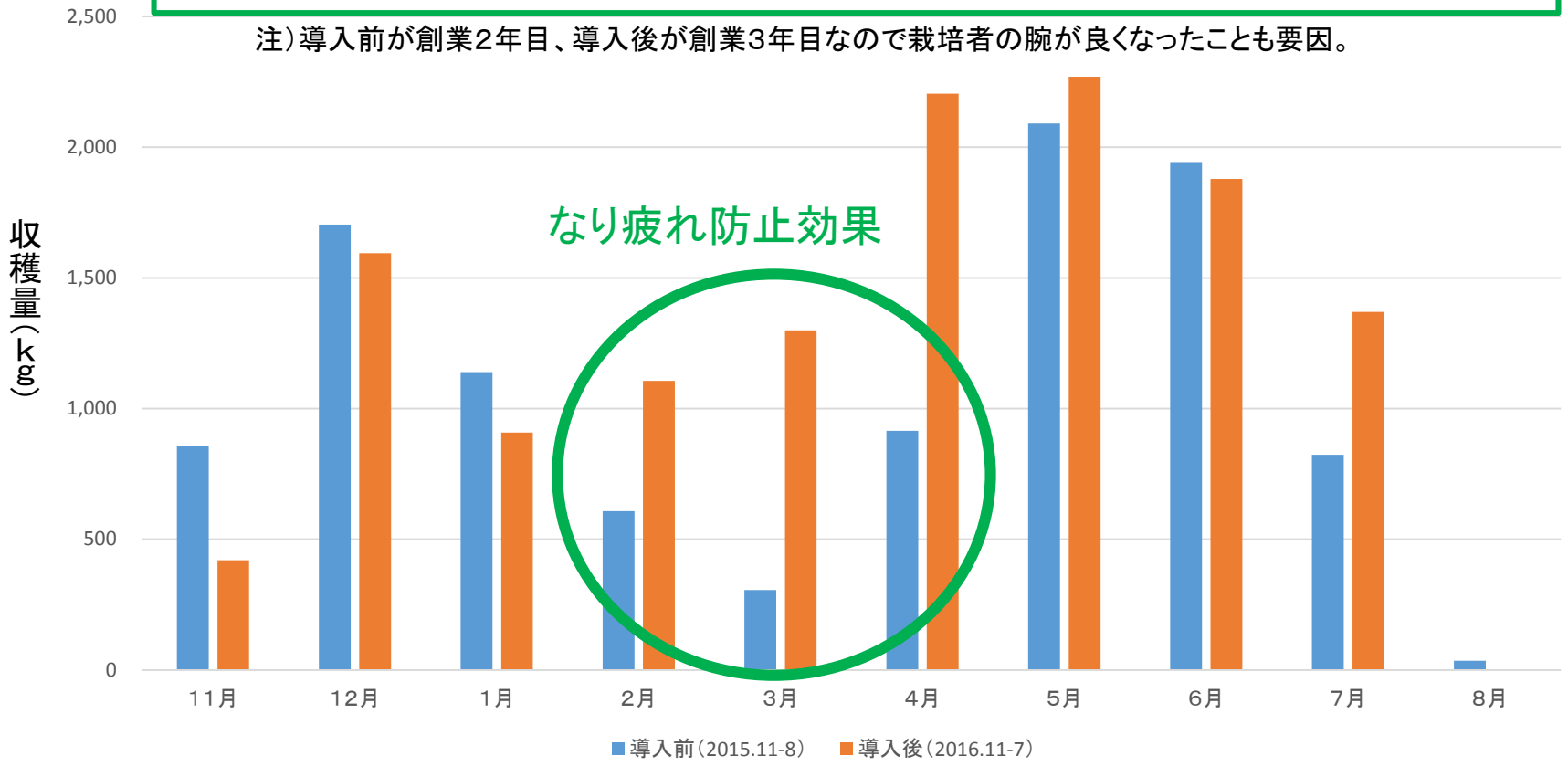
CO2局所施用コントローラー「ブレス」の使用効果

LYCOPER

【ブレス導入時期】:2016年10月　　【収穫期】:11月～7月
【作物】:中玉フルーツトマト　　【ハウス面積】:1反　定植本数導入前4,200本、導入後3,500本
【ブレス設定内容】 稼働時間:9:00-15:00　　ハウス内CO2設定濃度:350～450ppm
インターバル:5分施用→インターバル5分
※時期により上記設定からの変更あり。上記設定は栽培期間中の基本的な設置値。

総収穫量　導入前:10.4t　導入後:13.1t　年間2.7tの増収量
使用ボンベ数　約18本　年間約22万円　年間150-200万円/反の利益増

注）導入前が創業2年目、導入後が創業3年目なので栽培者の腕が良くなったことも要因。



テヌート社製CO2局所施用コントローラー システムのその他メリット

LYCOPER

- チューブが作業の邪魔にならない
- 群落が茂っていても難なくチューブを設置できる
- リースが組めて導入費も抑えられた
- 化石燃料を使用しないので、ハウス内が灯油や重油臭くない
- 熱エネルギーを発しないので、ハウス内が暑くならない
- エリア（ハウス）を分けて施用が可能。

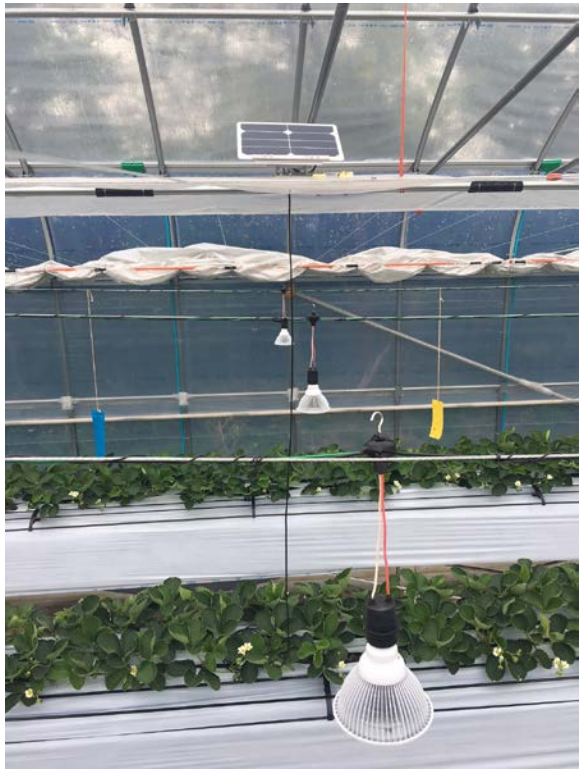
トマトのつる降ろしの際にチューブが邪魔になるため、
次作からはマルチ上に設置予定。

夏場はフル換気するので、
局所施用が有効

無線式農作物成長促進システム「レジェール」の実証

LYCOPER

・太陽光パネルを利用した
ワイヤレスセンシング及びデータ通信



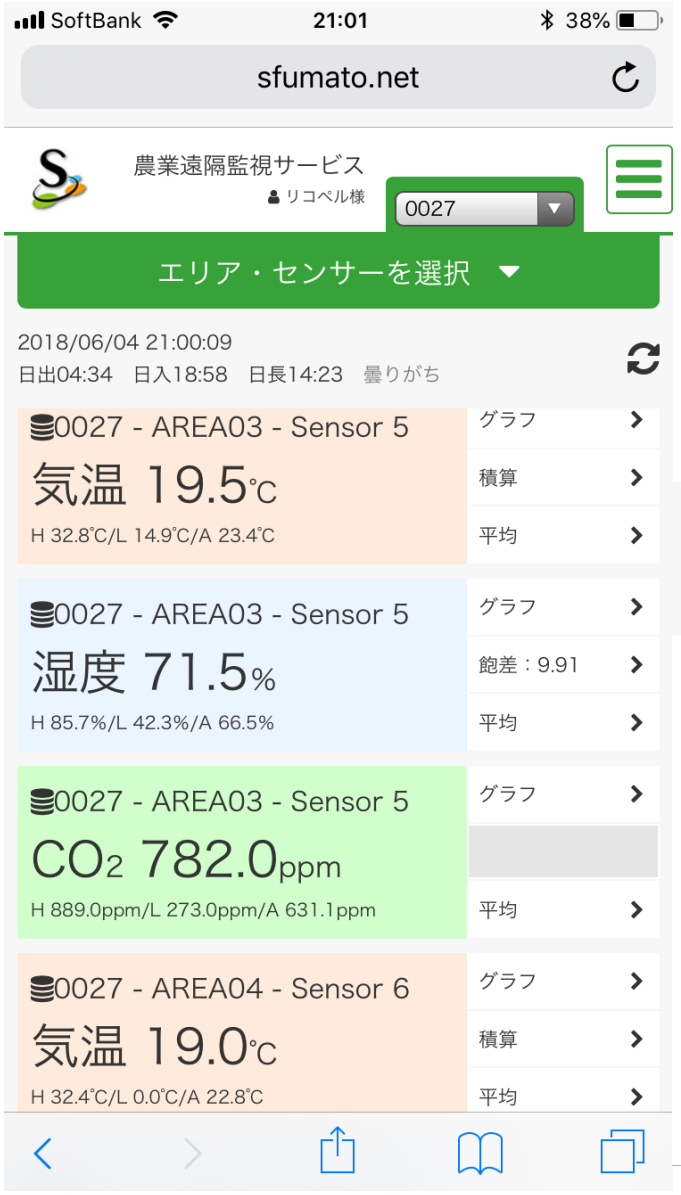
・LED照射とCO2施用を組み合わせた曇天時
光合成促進及び、花芽誘導のための日長管理

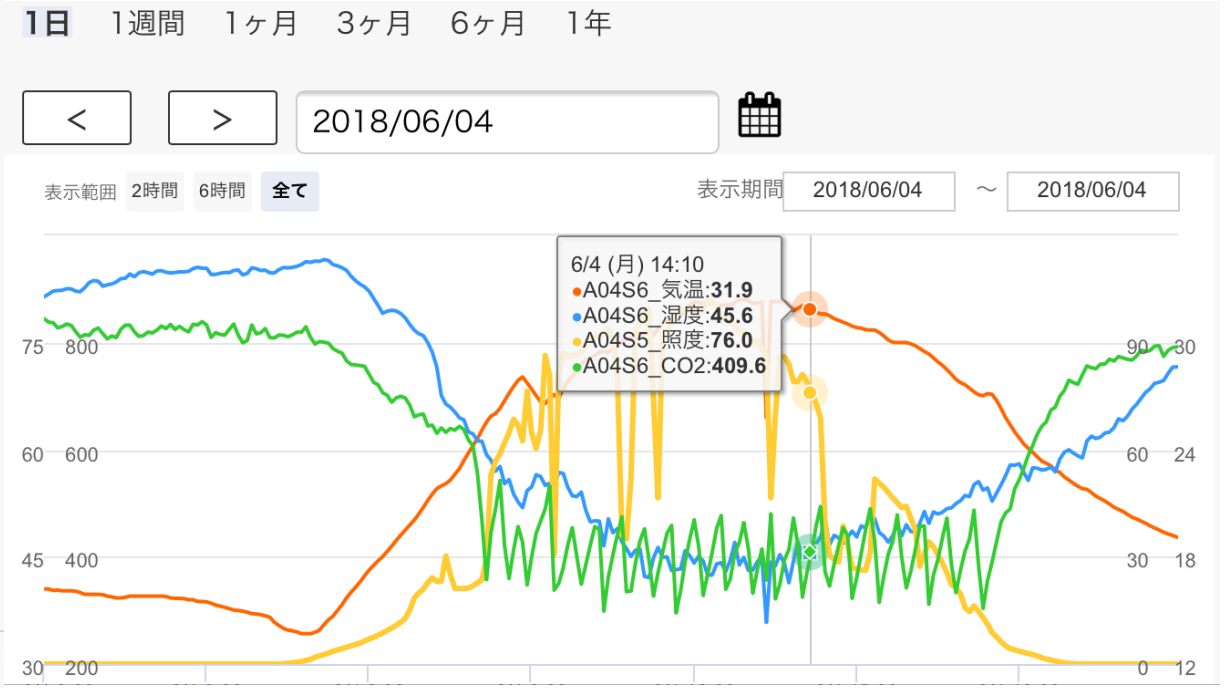
・CO2とAirの混合施用
・炭酸ガスボンベ残圧の
通報システム

農業遠隔監視サービス「スフマート」

LYCOPER

・スマホやタブレットでいつでも環境データが見れる
・データの読み込み時間がなくストレスなく動かせる
・複数ハウスの環境を並べて確認できる
・比較したいデータを並べてグラフ化できる
・UIが優れており取説がなくても難なく操作できる

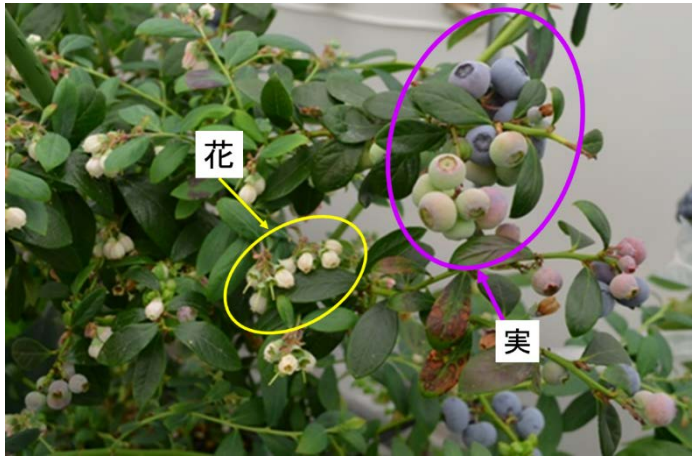




当社の今後の展開

LYCOPER

レジェールをフル活用した、いちごとブルーベリー、レモンの四季なり栽培を確立。
農場の規模拡大及び観光農園を開設し、フルーツトマトと並ぶ経営の柱にする。



東京農工大学荻原研究室の四季なりブルーベリー

当社　レモン栽培ハウス（2年生）

当社　ブルーベリー栽培ハウス（2年生）

当社　いちご栽培ハウス